

校長の想い2月

部屋にも感謝

逃げる2月がやってきました。

今年は、元日から大きな災害や事故が起こり心を痛めています。

災害でお亡くなりになられた方々には、心からお悔やみを申し上げるとともに、避難生活を余儀なくされている方々には、一刻も早い復旧をお祈りいたします。

さて私は、役職柄小学校、中学校の授業見学をする機会に恵まれています。

先日、小学校の研究授業を拝見した時に小学校1年生の担任の先生が児童に対して「感謝をしましょう」と、児童に声掛けをしながら素晴らしい授業を展開していました。

授業も良かったです、その担任の先生の生きざまが児童に良い習慣を作っている様子がうかがえて、プロフェッショナルの仕事を拝見しました。

私自身もこの神津島にお世話になって、島の方々に対して感謝することが多いのですが、住宅に関してもとても感謝をしています。

今や私にとって、一番くつろげる部屋です。

私は、出張等で部屋を空ける時に、戸締りと火の元の確認をしながら必ず部屋に言う言葉があります。

「すぐに戻るから、いい子にして待っていてね。」

部屋に対して「いい子」なんておかしいのではと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、それくらい可愛がっています。

その影響なのか分かりませんが、私が使う船や飛行機はほとんど欠航することがありません。

「先生はもっていますね。」と言われることが多いです。

すべてに感謝することはとても大切なことだと思います。